

令和3年度社会福祉法人勝浦市社会福祉協議会事業報告

総括事項

令和3年度は、事業計画に基づく事業の推進と、在宅福祉事業の推進、各種福祉団体の育成強化およびボランティア活動の推進等、きめ細かな福祉施策を展開し、誰もが安心して住み慣れた地域で暮らすことができるよう、ふれあいと支えあいに満ちた福祉社会づくりに努めてまいりました。

本年度実施した事業は、次のとおりである。

なお、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、休止や自粛等をせざるを得ない事業もありましたことを申し添えます。

1. 社会福祉協議会の運営強化

社会福祉協議会の事業を計画的に展開していくため、理事会、評議員会等の開催を計画し本会の運営強化を図りました。

(1) 会議の開催

① 社会福祉協議会 理事会

○5/25 ○6/18 ○3/1

② 社会福祉協議会 評議員会

○6/11 ○3月開催の第2回評議員会については書面決議

③ 社会福祉協議会 評議員選任・解任委員会

○6/25

④ 社会福祉協議会 監査会

○5/11

2. 援護活動事業

(1) 生活困窮者の援護対策

① 歳末たすけあい援護金の支給をいたしました。

全国一斉の共同募金会運動の一環であり、勝浦市社会福祉協議会では千葉県共同募金会の勝浦市支会を担い歳末たすけあい運動を展開いたしました。

援護金は民生委員を通じ、生活困難な要保護世帯、準要保護世帯、高齢者世

帯等（生活困窮世帯）へ支給し自立した生活が営めるよう支援いたしました。

○配布世帯 103世帯（一世帯当たり 24,000円）

○支給総額等 2,558,370円（内86,370円は事務経費）

② 行旅者帰宅旅費（帰宅困難者）の支援をいたしました。

○ 1人 1,000円

③ 生活福祉資金貸付事業の実施（千葉県社会福祉協議会受託）

生活福祉資金の貸付及び相談支援を行いました。

比較的所得が少ない世帯・障害者・高齢者世帯に対して資金の貸付と民生委員及び社会福祉協議会とが必要な相談支援を行うことによって、その世帯の経済的な自立と生活の安定を図ることを目的として実施いたしました。

なお、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により創設された生活福祉資金貸付制度によるコロナ特例貸付についても下記により対応いたしました。

※このコロナ特例貸付制度は令和4年8月末で終了予定。

○生活福祉資金貸付相談件数（通常） 12件

1. 緊急小口資金貸付件数 1件

貸付額 60,000円

2. 葬祭費 1件

貸付額 287,000円

○生活福祉資金（コロナ特例）貸付相談受付件数 57件

1. 緊急小口資金 コロナ特例貸付件数 9件

貸付額 1,800,000円

2. 総合支援資金 コロナ特例貸付件数 19件

※総合支援資金延長貸付及び再貸付含む

貸付額 10,920,000円

○生活福祉資金等総相談件数 69件

○ " 貸付件数 30件

○総貸付額 13,067,000円

(2) 児童福祉対策事業

- ① 特別支援学校児童に図書カードを配布しました。

○配布対象者 6名 (18,000円 ※1人3,000円)

(3) 老人福祉対策事業

救急医療情報キット配布事業

- ① 65歳以上の一人暮らし老人等に対し、救急医療情報キットを配布いたしました。

救急連絡カードへ自身の身体情報、服薬情報等を記入し、筒状の容器へ入れ、冷蔵庫等に保管し、万一の時に救急隊や第一発見者が救急連絡カードの中身を確認することによって、迅速に救護活動ができることを目的として実施いたしました。また、都度、消防署への連絡も行い連携を図っています。

○50世帯(57名)へ救急医療情報キット配布

- ② 市老人クラブ連合会事業に対し事務局を預かることで、老人クラブ活動の支援を行い、その活動に対する事業費を助成いたしました。

老人クラブは高齢者自らが相集う自主的な組織で、その活動はスポーツ、旅行、カラオケ等高齢者同士のネットワークづくりや社会参加活動に大きな役割を果たしています。社会福祉協議会では、市老人クラブ連合会の事務局を預かり、活動への協力や活動助成金の支給を行い、高齢者福祉の推進を図りました。

- ③ 在宅ねたきり老人に対し見舞品(紙オムツ及び尿とりパッド※廃棄用ごみ袋)を支給いたしました。

65歳以上の在宅ねたきり高齢者の方に対し、介護用品(紙オムツ及びパッド)の支給を行い、在宅介護者への負担軽減を図ることを目的に実施いたしました。

○見舞品支給対象者延べ支給者 80名

(L92袋 M132袋 パッド357袋 各ゴミ袋配布)

- ④ 「敬老の日」を期して80歳以上の一人暮らし(生活困窮者)高齢者に対し、敬老慰問金を贈り敬老思想の普及向上に努めました。

○慰問金支給対象者 90名

⑤通信カラオケシステムを活用し高齢者等の健康増進を図りました。

※使用条件付きで開設はしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者についてはほぼありませんでした。

3. 合同相談支援事業（市受託事業）

民生委員をはじめ、行政相談員、人権擁護員の3者体制により、市役所、保健福祉センター、興津集会所、上野集会所、総野集会所の市内全5ヶ所に相談所を設置し、市民の各種心配事等の相談に応じる計画をいたしました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、合同相談運営委員会役員及び市担当課と協議し令和3年度については11月16日より予約制により再開いたしました。

① 合同相談員運営委員会役員会の開催

新型コロナウイルス感染拡大に伴う本年度の方針及び次年度の合同相談事業の開催方法について協議をいたしました。

○ 2 / 1

4. 勝浦市保健福祉センターの管理運営

勝浦市より指定管理を受け、市民の健康の保持増進のための検診や相談事業等を行うとともに、ボランティアグループや福祉団体等の相互交流やレクリエーションの場の提供を通じ市民の福祉の向上に寄与するため、市保健福祉センターの施設運営を行いました。

○年間の利用状況 98件

○延利用者数 2,311名

5. 日常生活自立支援事業（千葉県社会福祉協議会受託）

定期的な訪問により、判断能力が不十分な高齢者や障害者が地域で安心して自立した日常生活が送れるよう、利用者との契約に基づき福祉サービスの利用援助や金銭管理サービスを行いました。

○令和3年度延べ利用者件数 36件

○令和3年度生活支援サービス回数 51回

○現在、利用相談継続中 2件

6. その他の事業

(1) 市民生児童委員協議会、各地区区長会、遺族会に対し活動費を助成いたしました。

(2) 千葉県共同募金会勝浦支会を担い共同募金運動に協力いたしました。

(3) 「ふくしかつうら」を発行及びホームページ上による活動状況並びに情報発信を行いました。

地域福祉の普及啓発を目的として、広報誌発行やホームページによる社会福祉協議会事業の啓発に努めました。

(4) 各地区社会福祉協議会（勝浦地区、興津地区、上野地区、総野地区）へ活動費助成を行いました。

近隣住民による助け合い支えあい活動等、地域福祉を実践していくために各地区社会福祉協議会へ地域福祉活動助成金の支給を行いました。

(5) 独居老人安否確認事業「お元気コール」を実施しました。

一人暮らしのお年寄りに対し、主に各地区社会福祉協議会の役員等が電話や訪問による安否確認を行うことにより、地域のつながりや高齢者福祉の発展強化を図りました。 ○対象者人数 119人名

(6) 第71回千葉県社会福祉大会（11/16）へ参加の予定でしたが、本年度は新型コロナウイルスの影響により、規模を大幅に縮小したうえで、参加者を各受賞部門の代表者等に限定し実施するとのことであります。

(7) 介護用品リサイクル事業を実施いたしました。

市民の皆様から寄せられた介護用品を必要とされている方へ橋渡しを行い介護生活の負担軽減を図りました。

○受け入れ袋数およそ 53袋

○橋渡し件数 20件

(8) 勝浦市より赤十字社資募集に係る事務の一部を受託し、日本赤十字社の社資募集運動に協力いたしました。

7. ボランティアセンター運営事業

- (1) 各ボランティアグループに対し活動費を助成いたしました。

ボランティア活動の推進及び発展・充実を図ることを目的として助成金の支給を行いました。

○12グループ

- (2) ボランティア連絡協議会の活動支援を行い(事務局)及び活動費を助成しました。

勝浦市ボランティア連絡協議会の事務局を預かり支援、連携することにより、ボランティア活動の啓発や各団体間の連携による活動の充実を図りました。

- (3) 災害ボランティアセンター資機材備蓄整備

地震や津波等の災害発生時に市と連携し社会福祉協議会が担うこととされている災害ボランティアセンターの運営等や災害復興時に活用するための資機材の備蓄整備を図りました。

- (4) ボランティアセンター各種事業を実施しました。

- (5) 各種ボランティア講座（介助講座、災害ボランティア講座等）を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により各種講座やボランティアの育成事業等のボランティアセンター事業については、休止せざるを得ない事業もありました。

「※詳細は別紙、活動報告書のとおり」

